吹奏楽部通信　競・信・照

平成 28 年 4 月 21 日
号外　武井うのか　渡辺和

いよいよ５月１日は東海大学付属札幌（第四）高等学校の演奏会です‼全国大会レベルの演奏が聴ける貴重な演奏会です。たくさん学び吸収してきましょう。

・東海大学付属札幌(第四)高等学校について知ろう

創部 1964 年(今年で５２代ということで美須々と変わりません)
全日本吹奏楽コンクールでは、３３回連続出場(1978～2015)で 19 回の金賞を誇る名門。
2014 年陽が昇るとき金賞
～合言葉～

基本に忠実に、きいてくださるすべての方々に感動して頂ける音楽作り

～目標～

北海道に根ざした雄大なサウンドとおおらかな表現

・井田重芳先生

山形県米沢市出身、武蔵野音楽大学トランペット奏者
1974 年武蔵野音楽大学を卒業と同時に東海第四高に奉職。42 年目‼
～目標～

聴いて頂く方々に喜んでもらい、癒しにつながる演奏をすること。吹奏楽で社会を元気にすること。

北海道らしい壮大な音を出すには‼？
→とにかく楽器にこだわる。ヤマハ楽器で統一したことでバンド全体のサウンドが大幅に変化した。楽器がすごく大きな要因‼
全国大会で金賞を取るには基礎合奏から。

・新川文化ホール(通称:ミラージュホール)

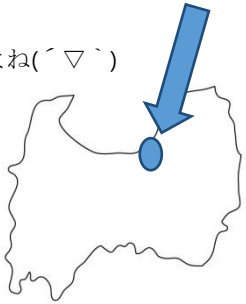
音響家が選ぶ優良ホール 100 選である。ホールは巨大な楽器といれ、音の量感と広がり感を最大限にいかすよう設計された場。

ここでちょっとキッセイと比較…

	席(大ホール)	建物面積	開館日
キッセイ	2000	8,768	平成 4 年 7 月 18 日
新川	1186	12,797	平成 6 年 11 月

これを見てみるとキッセイの方が大ホールは大きいということが分かりますね。
全国大会が行われる名古屋国際会議場も 3,000 人収容ということで全国大会で聞くよりも間近で演奏を見て聞くことが出来ます‼目で見て耳でしっかり聴いてきましょう。

・特産品チェック



他県へ出かけるにあたって、やはりおいしいものを食べたいですよね(´▽`)
そこで食べられるかわかりませんが調べてみました、、、
魚津市…リンゴ・梨・魚介類(かまぼこ、ズワイガニなど,,,)
富山県…ますのずし‼・富山ブラックラーメン・黒部米
私はズワイガニとますずしが食べたいです、、、

・しょうご君より

この学校では以下の３つのポイントを大事にして練習しています。

１、「楽典とセオリー」

楽典をベースに音楽のセオリーに基づいて練習をしています。生徒は入部と同時に楽典の本を購入し音楽の基本ルールを徹底的に学びます。技術を伸ばすためには音楽を論理的に理解することが大切です。みんなも学ぼう！！

２、「バランス練習」

毎日３０～４０分の基礎練習を行う。なぜなら、完璧に、全神経を使って基礎練習をやると、この時間が精一杯なのです。「チューナーで合わせた音が、聞きたい美しい音とは限らない」と井田先生がおっしゃっています。

３、「和声から曲の意味合いや性格を読む」

井田先生はスコアを和声に変換して（和音進行)、曲の構成と表情を掴むのだそうです。音符だけに追われて曲の表情が見えなくなってしまうのではなく曲の性格や色合いを常にみて練習しよう。　　まだまだ紹介したいので個人的に記事を出します！